

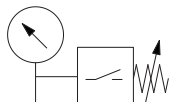
# スイッチ内蔵圧力計

## GS1-50

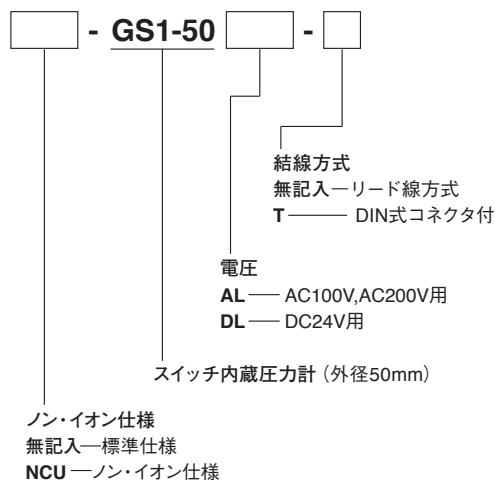


- 設定圧力と使用圧力が1つの圧力計に表示されます。パネルマウントも可能ですから、制御盤に組み込んでの集中制御、管理に便利です。
- インジケータを標準装備し、スイッチの作動状態の確認もできます。また、結線方法は標準のグロメット（リード線）タイプに加え、DIN式コネクタタイプもオプションとして用意されています。

### 表示記号



### 注文記号



備考：AC用接点保護回路（外来サージ吸収素子）を内蔵したものも製作可能です。詳細については最寄りの当社営業所へご相談ください。

### 仕様

項目	形式	GS1-50
使用流体		空 気
最高使用圧力	MPa	0.83
圧力計仕様	使用温度範囲（雰囲気および使用流体） °C	5～60
	圧力表示範囲	0～1.0
	指示精度	F.S.±3%
スイッチ仕様	圧力調節範囲	0.1～0.83
	調圧指針誤差 <sup>注1注3</sup>	±0.05
	繰返し精度 <sup>注3</sup>	±0.05（5～45° C）
	応差	0.07以下
	接点方式	マイクロスイッチa接点（NO）
	結線方式	標準 リード線方式長さ：約500mm（UL1007 AWG22） オプション DIN式コネクタ
インジケータ		DC用はLED、AC用はネオンランプ標準装備
耐衝撃	m/s <sup>2</sup>	9.8
取付方向		自 由
質量	kg	0.17（DIN式コネクタ付は0.19）
材質	本体	アルミダイカスト
	ケース	SPCC
	株	黄 銅
	ブルドン管	黄 銅

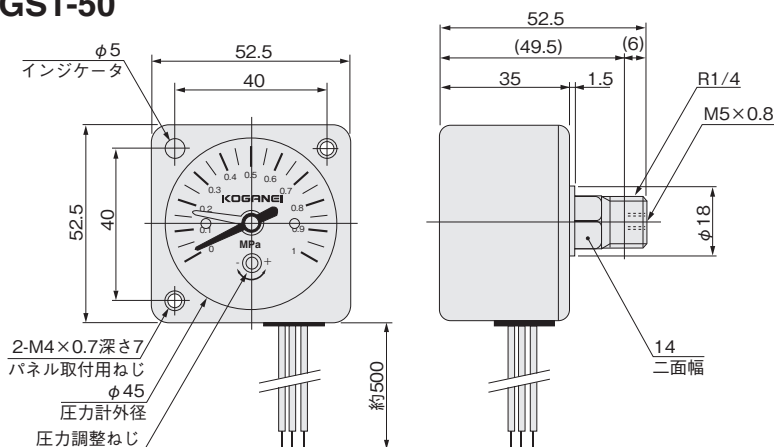
- 注1：圧力上昇時の仕様です。  
注2：設定圧力は供給圧力と0.1MPa以上の差で使用してください。  
注3：調圧指針誤差と繰返し誤差は集積されることがあります。（最大±0.1MPa）使用時にご注意ください。

### マイクロスイッチ定格

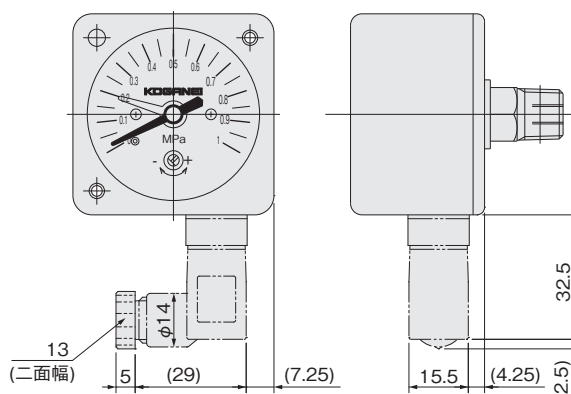
定格電圧		A		
使用電流範囲		DC30V	AC125V	AC250V
誘導負荷	連続	0.05～0.1	0.01～0.1	0.01～0.05
	突入	0.5 MAX.	0.5 MAX.	0.2 MAX.
無誘導負荷		0.01～0.5	0.01～0.3	0.01～0.2

### スイッチ内蔵圧力計寸法図（mm）

#### GS1-50



#### ●DIN式コネクタ付



CMZ、FRZ  
小形 FR  
マルチ  
マニホールド R  
大形 F.R.L.  
サブライン  
クールセレータ  
ドレン F  
圧力計  
膜式ドライバ  
チューブドライバ  
インライン F  
QJレギュレータ  
小形精密 R  
ステンレス R  
精密ステンレス R  
電一空 R  
DTコンプレッサ  
QJスタンダードミニ  
QJスタンダードSUS  
QJロータリ  
TAC継手  
QJS  
QJSダイヤル付  
スロットバルブ  
ハンドバルブ  
ストップ弁付 QJ  
チェックバルブ  
パワーレギュレータ  
コネクタ  
サブライジョイント  
チューブ  
圧力スイッチ  
流量センサ  
多チャンネル MSU  
ショックアブソーバ  
ハイドロC・R  
iB-Flow  
スピードコントローラ  
マフラー・エキゾースト  
コンバータ・ブリーダ  
ホルダ&コラム  
インジケータ  
ブラチェーン  
真空バルブ  
インラインエジェクタ  
エジェクタ ME  
エジェクタ FME  
エジェクタ多段  
バキュームパッド  
真空 R  
真空シリンダ  
真空 Pユニット  
吸着 U  
DT真空ポンプ  
ピュアプロセス  
フッ素ポンプ

CMZ, FRZ
小形FR
マルチ
マニホールドR
大形F.R.L.
サブライン
クールセレータ
ドレンF
圧力計
膜式ドライヤ
チューブドライヤ
インラインF
QJレギュレータ
小形精密R
ステンレスR
精密ステンレスR
電一空R
DTコンプレッサ
QJスタンダードミニ
QJスタンダードSUS
QJロータリ
TAC継手
QJS
QJSダイヤル付
スロットバルブ
ハンドバルブ
ストップ弁付QJ
チェックバルブ
パワーレギュレーサ
コネクタ
サブライジョイント
チューブ
圧力スイッチ
流量センサ
多チャンネルMSU
ショックアブソーバ
ハイドロC・R
iB-Flow
スピードコントローラ
マフラーエキゾースト
コンバータブリーダ
ホルダ&コラム
インジケータ
ブラチェーン
真空バルブU
インラインエジェクタ
エジェクタME
エジェクタFME
エジェクタ多段
バキュームパッド
真空R
真空Pユニット
吸着UVYP
DT真空ポンプ
ピュアプロセス
フッ素ポンプ

## 取扱い要領と注意事項



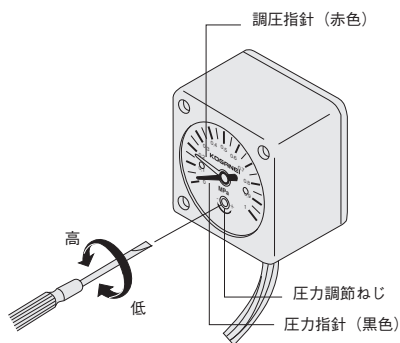
### スイッチ内蔵圧力計

#### 取付・配管

1. 取付姿勢は自由ですが、バルブとアクチュエータの間に取り付ける場合など、圧力の脈動が激しい場合には絞り機構などを設けてください。また強い振動がある場所に取り付ける場合はご相談ください。
2. 取付けおよび配管時には、圧力計の本体部をつかんで締め付けしないでください。締め付けは必ず配管接続口の六角部にスパナを掛けて行なってください。

#### 圧力調節

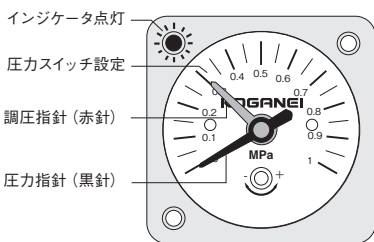
圧力調節ねじを回して、調圧指針（赤色）を設定圧力に合わせてセットします。圧力調節ねじを左回転（反時計回り）させると高圧側、右回転（時計回り）させると低圧側に設定されます。空気圧力が上昇して設定圧力になるとスイッチが切り換わり、圧力が降下して上昇時に切り替わった位置より0.07MPa以内（応差分）で復帰します。



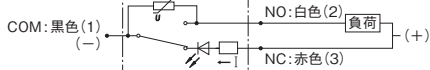
1. 圧力調節をするには、レンズ面のキャップを外さずに、キャップのスリットから時計ドライバーを入れて直接に圧力調節ねじを回してください。
2. 調圧指針には±0.05MPaの指示誤差があります。微調節をするには、設定圧力の圧縮空気を印加してスイッチの切換えを確認しながら行なってください。

#### スイッチの設定方法と作動内容

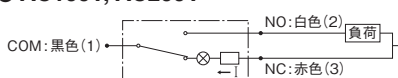
設定例：圧力が0.3MPa以下になった場合、スイッチを切り換えたい。



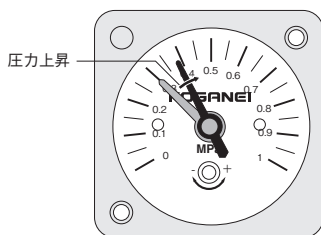
##### ● DC24V



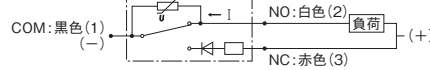
##### ● AC100V, AC200V



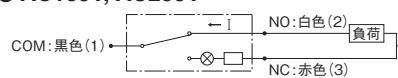
大気状態にて、調圧指針（赤針）を0.3MPaに設定。この時、内部のスイッチは上記回路図のようにNC側にあり、インジケータは点灯します。



##### ● DC24V



##### ● AC100V, AC200V



圧力を供給し圧力が上昇すると、調圧指針（赤針）位置付近で、内部のスイッチは上記回路図のようにNO側に切り換わり、負荷電流が流れインジケータは消灯します。この時の位置をAとします。この時の切り換え位置Aは、調圧指針誤差±0.05MPaと繰り返し精度±0.05MPaが累積されるため、圧力指針（黒針）に対し、最大±0.1MPaの誤差。

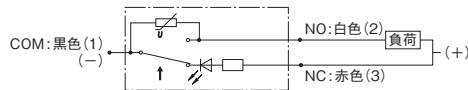
#### 一般注意事項

1. 本品は供給圧力の確認用として使用してください。したがって精密な制御回路へ使用する場合には最寄りの当社営業所へご相談ください。
2. 設置場所の温度が45℃以上、または湿度が常時50%以下の所ではスイッチの性能が低下する恐れがありますので、その様な所で使用する場合には最寄りの当社営業所へご相談ください。
3. 接点方式にマイクロスイッチを使用しているため、雰囲気中にシリコンガスが存在しますと、接触障害が発生することがあります。本製品の周囲にシリコンオイルなどシリコン製品がある場合には、接点保護回路付の使用(AC用の場合)またはシリコンガス発生源の除去をお願いします。

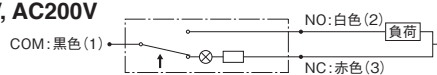
#### 結線要領

NC, NO接点とリード線の色（コネクタ付では端子番号）に注意して結線してください。図中の（ ）は端子番号を、また↑は圧力上昇方向を示します。インジケータは設定圧力以上で消灯し、設定圧力以下になると警報として点灯します。

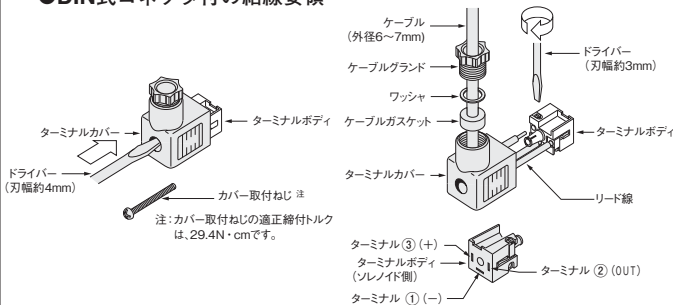
##### ● DC24V



##### ● AC100V, AC200V



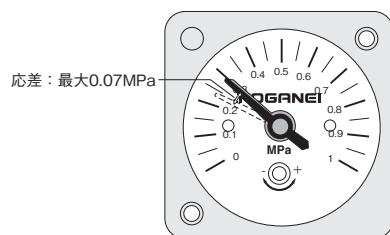
#### ●DIN式コネクタ付の結線要領



リード線は被覆をむき、各ターミナルボディ接続端子の奥に突きあたるまで挿入し、ドライバでねじを締め込み接続してください。その際、軽く手で引張りリード線が抜けないことを確認してください。



コネクタ式タイプでは、納入時にはコネクタの配線口位置が接続ねじ部方向（裏側）になっております。



圧力が降下し、位置Aより圧力指針（黒針）が降下してから応差分（最大0.07MPa）以内に内部のスイッチはNC側に切り換わります。この時の切り換え位置を確認し、調圧指針（赤針）を調整してください。なお、NC側を負荷接点として使用することはできません。NO側のOFFによるリレーなどのB接点制御を行ってください。

上記以上の精度をお求めの場合は、

- センサ内蔵デジタル圧力計
  - デジタル圧力スイッチ
- を推奨します。